

令和6年度国補正予算（国土交通省）の内示状況

令和6年12月25日（水）
知事定例記者会見資料

担当：県土マネジメント部
総務課 大澤、西野
（内線：4110,4230）
道路建設課 堀川、坂野
（内線：4130,4131）

令和6年度国補正予算（国土交通省）の内示について

令和6年12月17日に、国土交通省から令和6年度補正予算の配分が発表されました。

① 県事業（国費ベース）：約54億円 → 前年度比 1.26（+11億円）
〔参考〕前々年度比 1.35（+14億円）

<内訳>

- 1) 道路・街路 ・配分額約38億円 → 前年度比 1.34（+10億円）
- 2) 河川 ・配分額約6億円 → 前年度比 0.84（▲1億円）
- 3) 砂防 ・配分額約10億円 → 前年度比 1.40（+3億円）
- 4) 公園 ・配分額約0.3億円 → 前年度比（皆増）
- 5) 建築（盛土） ・配分額約0.2億円 → 前年度比（皆増）

② 直轄事業（事業費ベース）：約52億円 → 前年度比 0.89（▲6億円）
〔参考〕前々年度比 1.54（+18億円）

<内訳>

- 1) 道路 ・事業費約27億円 → 前年度比 1.08（+2億円）
- 2) 河川 ・事業費約21億円 → 前年度比 0.92（▲2億円）

※紀の川（奈良県域）分については、後日の事業計画通知により事業費が判明しますので、その分は除いています。

- 3) 砂防 ・事業費約2億円 → 前年度比 0.25（▲7億円）
- 4) 国営公園 ・事業費約2億円 → 前年度比 1.81（+0.7億円）

上申した主な県道路事業：（仮称）奈良ICへのアクセス整備と交通結節点機能等の強化

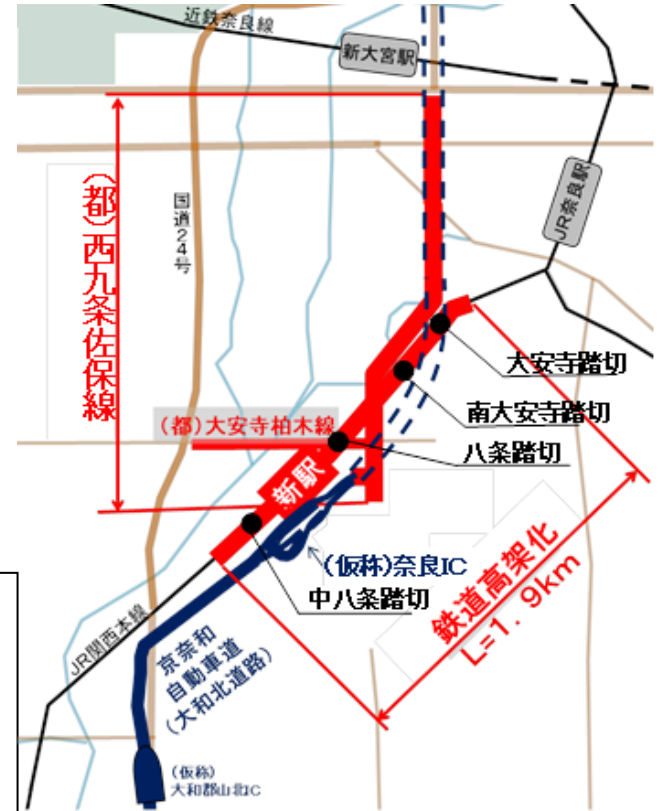
1. 国・奈良県の取組、要望内容等

【本県の取組】

京奈和自動車道大和北道路（仮称）奈良ICへのアクセス道路である（都）西九条佐保線及び（都）大安寺柏木線の整備推進、JR関西本線高架化による、道路と鉄道の立体交差化の推進

【整備効果】

- ▶（仮称）奈良ICから奈良市中心市街地へのアクセス確保
- ▶踏切道除却（4箇所）による地域交通の安全性向上、地域分断の解消
- ▶無電柱化による防災機能の向上、都市景観の向上



国への要望

- 街路事業推進に必要な予算の確保
 - 生産性向上に資する本事業の令和6年度補正予算の確保
 - 個別補助事業（踏切道改良）の重点的な予算配分
 - 幹線道路ネットワーク構築等に必要な街路整備への継続的な支援

2. 政府予算案の内容

○令和6年度補正予算において、京奈和自動車道大和北道路への予算配慮と共に、以下の予算が配分された（事業費ベース）。

- ・個別補助事業（踏切道改良）【八条踏切道】：約15億円
- ・防災・安全交付金事業【西九条佐保線】：約2億円

※左記事業の路線は今年度から補正予算を要望

上申した主な国道路事業：広域道路ネットワーク整備の加速（直轄道路分）

1. 国・奈良県の取組、要望内容等

- ▶ 紀伊半島アンカールートをはじめとする広域道路ネットワークの整備促進、関連事業の令和6年度補正予算を例年以上に確保
- ▶ 高速道路のミッシングリンク・ボトルネックの解消
- ▶ 国土強靱化実施中期計画の年度内策定とミッシングリンクの供用目標を早急に公表

国への要望

■京奈和自動車道 大和北道路

（仮称）奈良北IC～（仮称）奈良IC

- ・トンネル工事の早期着手

（仮称）奈良IC～郡山下ツ道JCT

- ・工事及び用地取得等の促進
- ・早期開通にむけて供用目標を早急に公表

■京奈和自動車道 大和御所道路

- ・供用目標を早急に公表し、工事の促進

■清滝生駒道路、五條新宮道路

- ・用地取得及び工事の促進

■奈良中部熊野道路

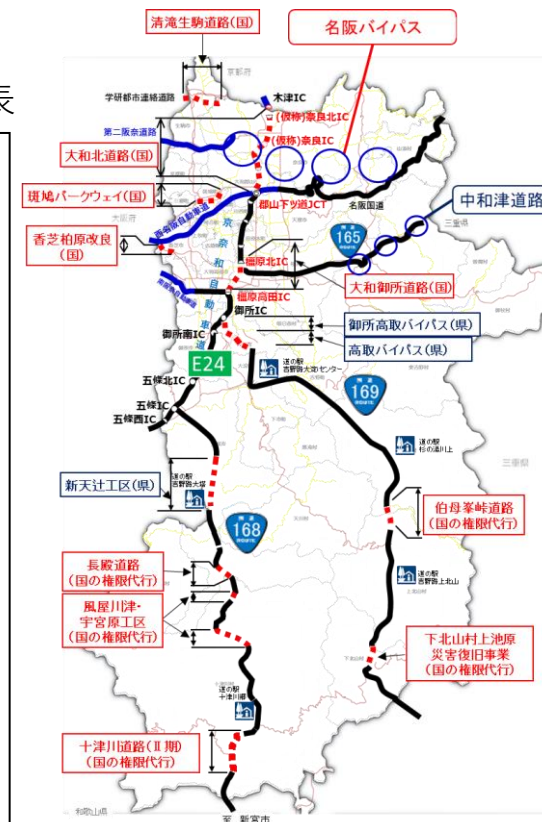
- ・国土強靱化実施中期計画への位置付け
- ・用地取得及び工事の促進

■斑鳩パークウェイ、香芝柏原改良の整備促進

■下北山村上池原の崩土災害

- ・本格復旧の早期完成
- ・体制の充実・強化

■名阪バイパスの具体化に向けた検討



2. 政府予算案の内容

- 令和6年度補正予算において、以下の予算が配分された。（事業費ベース）
 - ・直轄道路事業※1※2：約27億円 → 前年度比1.08倍（+2.1億円）

※1：下北山村前鬼～上池原災害復旧の予算は除く、※2：補正予算+ゼロ国債